

水土文化研究部会 第19回研究会の開催（第1報）

（技術者継続教育機構認定プログラム申請中）

“水と土と人の複合系”である水土は、農業を基軸とするも、経済行為にとどまらない多彩な事象に満ちている。水土をいかに見極めるか、それは来し方・行く末を展望する上での基本でありかつ永遠の課題である。

今年度は、“石積み”を通して、水土を見極めることを試みる。コンクリートが普及する以前は、農地の法面や農業水路の水路壁等の強度を確保する等のために、石積みが多用されてきた。石積みは景観形成機能等の農業農村が有する多面的機能の発現に寄与しているが、他方で石積みができる職人の減少やコンクリートと比較した強度や施工の難しさ等から今後の石積みの維持・保全が懸念される。本研究会では、「石積みを事例とした水土の知の活かし方」をテーマに石積みの特長を明らかにし、今後の農業農村整備において石積みをもどのように扱えば良いかを議論する。

1. テーマ 石積み事例とした水土の知の活かし方

2. 日時 令和5年3月8日（水）14:00 - 16:00

3. 場所 農業土木会館 2階B会議室

新型コロナウイルスの感染状況によってはオンライン形式に変更することがあります。

4. プログラム

講演

(1)「未定」

東京工業大学 環境・社会理工学院 土木環境工学系 真田 純子

(2)「未定」

三重大学大学院 生物資源学研究科 岡島 賢治

パネルディスカッション

講演者およびコメンテーター（調整中）

5. 参加料 無料（部会員以外のどなたでも参加いただけます）

6. 申し込み・問い合わせ先

〒765-0053 香川県 善通寺市 生野町 2575 農研機構西日本農業研究センター内

（国開）農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究部門

農地基盤情報研究領域 地域防災グループ 上級研究員 廣瀬 裕一

Tel 0877-63-8116 Fax 0877-62-1130

Mail [kunika@affrc.go.jp](mailto:kunika@affrc.go.jp)

7. 参加申込要領

参加される方のお名前（CPD会員ならば併せて会員番号）所属機関、連絡がとれるメールアドレスおよび電話番号を記載の上、上記申し込み先に2月27日までに申し込み下さい。会場の都合上、参加者数が25人になりますと、申込期限前でも締め切ります。